



京都府議会議員

藤山 ゆきこ

活動報告
Vol.26
2021.12

大好きな
まちのため

大切な
ひとのため

コロナ禍が始まり早くも2年が経とうとしています。令和3年もコロナ一色の1年でした。このコロナ禍は人類の歴史の中でも非常に大きな出来事として取り上げられるだろうと思います。同時に、未来の方から見てこの混乱はどう移るだろうとも思います。我々のこの辛い経験は必ず未来に活かされる形で検証していかなければなりません。令和3年の大きな出来事の一つとして、オリンピック・パラリンピックの開催があげられます。今、多様性の時代と言われ、パラリンピックは世界中がその多様性を認識した素晴らしい大会でした。一方でこの多様性という言葉はともすれば、我々日本人が歴史の中で築き、代々受け継いできた秩序や心根を否定するような解釈をされることがあります。しかし、どんな世においても大切にしなければならない普遍的な価値観や道理があります。日本人が美德としてきた、年長者を敬い、年少者を慈しみ、家族を大切に作る心、自ら律し他を重んじる姿勢、そして謙虚さ、この上で我が国は調和を図り繁栄してきました。自由に自らの幸せのみを追求するだけでなく、和の心をもって社会の一員としての責任を果たしていく、これを両立してこそ多様性の中での調和が実現されるのだと思います。西脇知事が掲げられている「子育て環境日本一」は、ひいては「ひとづくり環境日本一」ではないかと私は考えています。子どもたちがより良い環境の中で生き生きと成長し、多くの人の幸せのために活躍してくれる社会、またそんな夢を持ってくれるような環境をつくっていきたいと思っています。越えなければならない課題は山積していますが、一つ一つ紐解き根本を探り、輝かしい京都府の実現に向けて取り組んでいく所存です。

令和4年もご指導ご鞭撻の程、どうぞよろしくお願いいたします。

京都府議会議員 藤山裕紀子

きょうと魅力再発見旅プロジェクト



宿泊や旅行割引、クーポン券の配布を通じて京都府民の方に京都府内旅行を楽しんでいただき、地元を応援するキャンペーン。

府民だけでなく **隣接府県民に対象拡大予定!!** 割引適用期間が **2022年2月末頃まで延長!!**

●期間中であれば何度でも利用可能 ●予算がなくなり次第、事業終了 ●新型コロナ状況により、事業を一時停止または中止の場合あり

〈京都応援クーポン券〉宿泊／旅行／日帰り旅行の割引利用者に、対象施設で使えるクーポン券を提供。

利用可能場所：きょうと魅力再発見旅プロジェクトに登録の観光施設や土産物店・飲食店等

利用可能期間：旅行期間中に限り有効 (注意：配布を行っていない宿泊事業者あり)

【問合先】きょうと魅力再発見旅プロジェクト事務局

075-284-0149 (10:00~17:00土日祝除)

メール：kyoto-tabipro3@bsec.jp

各詳細は、
京都府ホームページで。

他にも京都府の情報や
キャンペーンが満載。check



「京の食」応援プロジェクト「京の雪見膳」

①御膳：府内料理店による京都府産食材使用の「御膳」「ミールキット」「鍋セット」など(1万円相当)

②京の酒：「祝」「京の輝き」など府内産米を使用した日本酒(720ml) ※更に、日本酒(720ml)1本追加!!

③宇治茶：府内産高級「玉露」又は「抹茶」

④京漬物：府内産野菜を使用した漬物セット(しば漬など)

※上記①～④の4点セットが1万円(配送料・税込) (注意：②～④は商品アイテム選択不可)

お届け：毎週金・土・日(前週木曜に注文締切)

注文受付：<https://premiumfood.stores.jp>

または、「プレミアムフードストア」で検索を

寒い季節、ゆっくりほっこり
おうち飲みにかがですか



令和3年度9月補正予算の概要

総額 484億 7,100万円

- 旅館・ホテル等の事業継続を緊急支援
…54億4,600万円
 - 外食需要減少の影響を踏まえた仲卸組合等への
緊急支援…2,000万円
- 深刻な打撃を受けている仲卸組合等に
オンラインマルシェ開催で販売機会を提供
- コロナ禍の最低賃金引上げで特に大きな影響を
受ける事業者支援…1億円
 - コロナ禍と長雨等の影響で厳しい経営環境にある
農業者等支援…5,000万円
 - コロナ禍での米価下落に対する生産者等への支援
…1億円
 - 伝統産業事業者が新たに取組む需要開拓等支援
…3,000万円
 - 時短要請協力事業者への協力金等
…181億6,300万円+126億7,600万円
 - 幅広い中小事業者を支える応援クーポンの発行…10億円
- 観光:きょうと魅力再発見旅プロジェクト
(府民に対する府内観光の割引販売)
飲食:安心・安全な京の飲食店応援クーポン
- 新型コロナ応援寄附金を活用した
医療従事者等支援…2億円
 - 高齢・障害者施設の従業員等に対する
PCR検査の継続実施…6,000万円

- 保育所等が行う感染予防対策への支援
…2億9,400万円
 - ワクチン希望者の接種完了に向けた会場追加等
…1億5,000万円
 - 病床確保等への支援や中和抗体薬治療の実施
体制の確保…55億9,700万円
 - 3回目接種に向けたワクチン接種体制の確保
…4億6,500万円
- 2回接種完了から概ね8ヶ月以上のちに
3回目接種開始
(実施予定時期)医療従事者:12月以降開始予定
高齢者等:1月以降開始予定
- 飲食店のワンランク上の安心・安全対策を促進
…7億9,000万円
 - 貸切バス・タクシー事業者の感染防止対策を支援
…5,000万円
 - 中小企業に対するテレワーク導入補助金を積み増し
…2,500万円
 - 生活福祉資金貸付原資の積み増し
…30億3,000万円
 - 障害者の就労支援事業に対する支援…4,800万円
 - 歴史的建造物の保存継承…1億2,600万円
 - 新型コロナウイルス感染症対策応援基金積立金
…5,100万円

11月補正予算案の概要 ※12/9時点

- 第6波に備えた医療提供体制の強化
…7億8,500万円
 - 年末年始(12/29~1/3)の医療提供体制の
確保に対する支援…1億1,700万円
- 外来診療を行う医療機関への支援 10万円/日
入院受入を行う医療機関への支援 20万円/人
- 年末年始の府民生活の安心強化…8,800万円
 - コロナ禍と原材料費等高騰の影響を受ける
伝統産業支援…4,000万円
 - 自宅で楽しめる「京の食」プレミアムフードの
追加販売…1億2,000万円
 - 新たに障害者を雇用する中小企業等を支援
…2,200万円
 - 介護・障害者福祉サービス事業所の感染症対策支援
…6億4,200万円

- 無症状者の検査費用及び検査体制整備の支援
…40億円
- 医療機関病床確保等支援事業費…7億6,400万円
- 入院医療機関医療体制整備事業費…9,000万円
- 原材料費増大等の影響を受ける中小企業を支援
…3億円
- 入国制限により影響を受ける中小企業等を支援
…2,000万円
- 厳しい状況にある大学生等の学びの継続を緊急支援
…1億2,500万円
- きょうと魅力再発見旅プロジェクトの対象等を拡大
…30億円
- 商店街が行う商品券販売や環境整備に対する支援
…1億8,000万円
- 「食の京都」需要拡大キャンペーンの展開…1億円

① 府民の善意の輪を活用した施策の推進について

〈質問要旨〉

(1) 昨年5月制定の「京都府新型コロナウイルス感染症対策応援基金条例」によって基金が設置され、医療従事者等への給付金、年末年始の入院受入医療機関等に対する支援金、児童扶養手当受給世帯の児童等への図書カードの配布等に活用されてきた。

- ① 京都府新型コロナウイルス感染症対策応援基金には、多くの善意が寄せられ、知事も数多くの寄附の受入に立ち会ってこられたが、貴重な寄附を寄せられる方々の思いをどのように受け止めているのか。
- ② 基金を活用して実施した事業の効果や反応についての認識、また、今後、基金を活用して、どのような分野に支援が必要と考えているのか。

(2) ふるさと納税は地方自治体の資金調達手段の一つで、広く定着している。国の調査結果によれば、令和2年度の寄附件数は、約3,488万件で対前年度比49.5%増、寄附額は、約6,724億円で対前年度比37.9%増と、いずれも過去最高となった。

- ① ガバメントクラウドファンディングを活用して本府が実施する、iPS細胞による再生医療等の技術開発応援プロジェクトについて、昨年度は目標金額を達成したが、この事業の成果と寄附制度を活用した事業の企画手法について、どのように評価しているのか。 (企画理事兼商工労働観光部長)
- ② 多くの寄附を募るには、発信力や事業計画の際のマーケティングは欠かせず、その成果は金額にはっきりと表れる。ガバメントクラウドファンディングは職員の創意工夫やアイデア、トレンドや社会課題を察知する力、そしてPR力が問われるため、ベンチャーチャレンジ職員育成事業と同様に、職員を育成する事業としても利用できると考えるが、今後の可能性と活用方策はどうか。 (総務部長)

(1) ① 新型コロナウイルス感染症対策応援基金で、広く府民、事業者から寄附金を募り、9月27日現在で1,237件、4億9,400万円余が寄せられた。経済活動自粛等の影響を受け、非常に厳しい状況にあるにもかかわらず、温かい御寄附をいただいた府内外の多くの皆様には、心から感謝申し上げます。

② これまでの寄附金については、基金に積み立て、次のような事業に活用させていただいた。

- ・ 府の要請を受け、新型コロナウイルス感染症患者の受入病床確保の医療機関従事者に対する支援金
- ・ 年末年始に、新型コロナウイルス感染症患者の入院や診療・検査に協力の医療機関に対する支援金
- ・ 児童扶養手当受給世帯の児童等に対し、1人当たり5,000円分の図書カードの配布

● 支援を受けた皆様からは、様々な感謝の声をいただいた。

- ・ 突然感染し、症状が不安定で不安な患者さんに、全力で治療を行うことができた。
- ・ 休日返上で対応が必要となり、家族と過ごすことが難しい逼迫した医療体制の中、頑張ることができた。
- ・ 本の購入にまでお金が回らないので、ありがたい。

このように、皆様からの寄附金は、コロナ対応の最前線である医療や療養の現場で日々懸命に働いている方々や、ひとり親家庭等を支援するために、大変有効に活用させていただいている。

今後の応援基金を活用した支援については、新規感染者が急増する厳しい状況の中奮闘する医療従事者への新たな支援や、コロナ禍で特に大きな影響を受けているひとり親家庭への支援など、寄附を寄せられた皆様の思いに沿って、有効に活用していきたいと考えている。

- (2) ①iPS細胞による再生医療等の技術開発応援プロジェクトは、iPS細胞を活用した再生医療等の研究開発を中心に、健康社会を増進する先端技術の実用研究を促進することを目的に、令和2年度から開始した事業である。昨年度は、クラウドファンディングのほか、企業や振込による寄附など、目標額2,200万円を大幅に上回る4,500万円の寄附を賜り、大きな成果を上げることができた。そのうち約3,800万円は京都大学iPS細胞研究財団で、再生医療やがんの新たな治療法の確立、新型コロナウイルス感染症の治療薬開発等の研究に活用、残り約600万円は、妊婦の鬱病予防、認知症の予兆検知など、スマート社会構築のためにスタートアップ企業が行う実用研究の支援に活用したところである。総勢468の寄附者の約9割が京都以外で、とりわけiPS細胞研究開発に対する関心の高さと実用化への強い思いを感じた。今年度も募集が開始され、寄附いただいた資金が研究開発促進に活用されていることを広報すると共に、SNS等で訴求力の高い情報発信などの工夫も行い、iPS細胞を活用した医療が一日も早く実用化するよう、多くの方々に御協力をお願いしていきたいと考えている。

- ②府の財政状況は税収の落ち込みや社会保障関係経費の継続的な増加により、厳しい状況が続き、多角的な歳入確保は重要課題であると認識している。こうした中、歳入確保の手段であるクラウドファンディングは、難病等の社会課題に広く関心を持つ良い機会となることや、京都の取組のブランディングにも効果的であることなど、様々な効果が見込まれるものと考えている。一方、目標額に達しない場合、施策に十分な効果が得られなくなるため、プロモーション面での創意工夫が必要といった課題も考えられる。

また、クラウドファンディングでは、創意工夫や行政課題を把握する力、住民へのPR力などが求められ、事業の企画立案や実施の過程を通じて、職員的能力が磨かれるものと期待している。

今後のクラウドファンディングの活用については、こうした効果や課題を十分に勘案し、職員の育成の観点も含め、積極的に導入を進め、歳入確保に努めていきたいと考えている。



② 府立高校の魅力向上の取組について

「第2期京都府教育振興プラン」が本年3月に策定、教育こそが京都府の未来を創り上げる源として教育の重要性を改めて認識するとともに、子育て環境日本一実現のための柱の一つとして具体的な目標指標を掲げる。

(教育長)

〈質問要旨〉

- (1)少子化やICT化が進む中、府立高校の在り方を検討する府立高校の在り方ビジョン検討会議が本年5月にスタートし、存在意義と果たすべき社会的役割等について議論されている。8月31日開催の4回目の検討会議では、府立高校への満足度等についてのアンケート結果が示されたと聞くと、その結果から現在の高校生が高校に求めるものについて、どのように分析しているのか。
- (2)現在の府立高校の入試制度は平成26年に変更、入学したい高校を自由に選択できるが、そうした中での定員割れの原因には、入試日程の問題と子どもたちの意識の変化があると聞く。8年経過の間に、コロナ禍をはじめ社会の状況は急速に変化し、人々の人生観にまで影響を与えたと考えるが、改編前と現在を比較し、社会のニーズの変化や子どもたちの意識の変化をどのように捉えているのか。
- (3)府立高校は府下全域にあり、普通科に加え幅広い職業学科、専門学科が充実しているため、ICT化推進により、他校や他学科の興味ある授業を組み合わせたり、各地域を知る取組など、生徒の可能性を広げることができると考えるが、ICTとスケールメリットを活かした府立高校の魅力の更なる向上について、どのように取り組むのか。



- (1) アンケート調査について、現在、「府立高校の在り方ビジョン」の策定に向けて設置している有識者会議における協議や、ビジョンを策定する上での参考目的で、全日制・定時制課程の全1年生を対象に、去る7月に実施。府立高校を選択した理由や在籍校の満足度と理由、魅力などの項目について調査した。
(以下、結果一部抜粋)

- 府立高校について魅力と感じている点では、日々の様々な教育活動に関わる事項が上位。

全日制課程：「部活動や文化祭、体育祭、研修旅行等の学校行事の充実」

「大学等への進学や就職に向けた指導の充実」

定時制課程：「全日制よりゆったり学べる」「少人数授業や補習などの学習指導の充実」



- 府立高校に期待することでは

基礎的・基本的な学力や大学等進学のための学力を身につけることができるなど学習的側面が約4割。特に職業学科や総合学科では、資格につながる学習や就職時に必要な知識や技術・技能の習得ができるなど、より明確な目的意識を持った生徒が多く入学していることが改めて明らかとなった。

- 在籍校の満足度は、約86%と高評価で、理由として「友人や先輩との関係」が一番にあがっている。

こうしたことから、生徒たちは、自らが目指す進路が実現できる学力や資格等が身につけられる学習指導と、部活動や学校行事等などの教育活動がバランス良く充実していること、また、高校生活を通じたよりよい人間関係づくりを求めていると認識している。

- (2) 入学者選抜制度について、平成26年度入学者選抜における見直しは、京都市・乙訓地域における総合選抜制度の廃止や受検機会の複数化などにより、中学生がこれまで以上に主体的に高校を選択し、充実した高校生活を実現できることを目指したものである。

しかし、少子化の進展や私立高校のあんしん修学支援事業の定着、多様な教育を展開する通信制高校の増加などにより、中学生や保護者の進路に関する選択肢が増える中、高校に求めるニーズは多様化してきている。

また、私立高校等への進学者が増加傾向にある中、早く進路先を決定したいという中学生や保護者の思いが強くなってきていることや、新型コロナウイルス感染症対策による選抜日程の過密化など、新たな課題も生じている。入学者選抜制度は、中学生の進路選択に影響するため、頻繁に大きく制度を変えることは望ましくないが、社会情勢や中学生、保護者の高校選択に係るニーズ等の変化を見極めながら、**更によりよい制度に見直していく視点は常に持ち続ける必要があり、関係機関と連携しながら検討を進めていきたいと考えている。**

- (3) ICTとスケールメリットを活かした府立高校の魅力向上に向けた取組について、高校間や学科間で連携



することで、一層の教育活動の充実が図れるものと考えている。すでに国の研究指定事業を受け、オンライン活用で、大学教授等による講義を2校で同時に受講し、各高校で単位認定する取組も進めているほか、丹後地域においては、学舎制の導入に伴い、遠隔授業システムを活用した単位認定を伴う合同授業を行っている。

また、普通科と京都フォレスト科を併置する府立北桑田高校においては、普通科の生徒が林業について学べる独自のカリキュラムを設置している。

今後、教育のICT化が益々進む中、さらに発展的に府立高校間での交流授業が可能になると期待している。

府教育委員会としては、有識者会議での意見等も踏まえながら、

高校間連携という府立高校ならではの強みを最大限生かしたさらなる魅力化に向け「府立高校の在り方ビジョン」において、今後の中長期的な方向性を示せるよう、検討を進めていく。



「きょうと子育て環境日本一山城サミット」



京都府は西脇知事のもと、「子育て環境日本一」を目指して施策を展開するとともに、その他の施策の中にも子育てのしやすさという視点を取り入れられています。核家族が主流になる中、子どもを社会で育てよう、に加え、親も社会で育てよう、というサポートも必要なのだろうと思います。

子どものいない方々が「子どもいないの?」「子育て知らんのに…」などの言葉で責められているように感じてしまうということも伺います。でも実はそういう方が社会の中で子育て中の方々をサポートする大きな力になっている場合があります。

子育て環境だけでなく、「子どもたちが育つ環境日本一」の京都府を目指したいと思います。

「新技術を活用した社会創造特別委員会」管内視察 in 舞鶴

スマート防災の取組については舞鶴市議会、スマート農業の取組については農事組合法人ほづさんを視察。

舞鶴市はオムロンソーシアルソリューションズ(株)と連携し、国・府が管理する河川の水位と舞鶴市が管理する43箇所の河川水位をウェブ上で確認でき、河川の水位を避難情報と連動させる「舞鶴市総合モニタリング情報配信システム」を開発されています。新技術を活用した社会に向けた取組には、想像力が不可欠だとも思います。マンガの世界と言われていたものがどんどん現実のものとなってくる中で、未来の世界を描いた漫画家さんの凄さを改めて感じます。



in 萬福寺

「伝説の茶農家プレミアム大茶会」



宇治黄檗の萬福寺の普段公開されていない部屋で、お茶の京都エリアで活躍されている茶農家さんや茶商さんら14名の亭主によるお茶をいただくという催し。萬福寺の紅葉と、亭主のお茶とお話で贅沢な時間。心が潤った一日でした。

「明朝体のルーツ
黄檗文化を今に問う」

オープニングイベントに参加。印刷用書体である明朝体は、萬福寺の宝蔵院に収蔵されている鉄眼版一切経の版木に起源し、国の重要文化財にも指定。宝蔵院にはこの版木が6万点収蔵されていますが、「この仕事が好きだから」と仰る40年以上の熟練刷り師さんにより、この中で手刷り印刷が行われています。



Facebookは、「藤山ゆきこ」で検索 🔍

【発行】藤山ゆきこ事務所

〒611-0042 京都府宇治市小倉町久保109 辻岩ビル本館1F

TEL&FAX 0774-23-9844

yukiko.fujiyama1107@gmail.com